

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第1回上越市白山会館運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 令和2年度社会同和教育活動事業の報告について（公開）
- (2) 令和3年度社会同和教育活動事業について（公開）
- (3) その他（公開）

3 開催日時

令和3年5月31日（月） 午前9時30分から10時45分

4 開催場所

白山会館 多目的集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：寺田委員長、嶋田副委員長、佐藤委員、栞原委員、吉村委員、山岸委員、荻原委員、宮下委員、江村委員、蓑輪委員、中村委員、浦澤委員、西山委員
- ・事務局：早川教育長、社会教育課 小嶋課長、福山副課長、古川係長、久保田主任、笠原社会教育指導員、鬼木社会教育指導員

8 発言の内容（要旨）

- (1) 開 会
- (2) 委嘱状の交付
- (3) 早川教育長挨拶
- (4) 委員長、副委員長の選出

出席した委員の互選により、寺田喜男委員が委員長に選任された。また、嶋田守雄委員が副委員長に選任された。

(5) 議 事

① 令和2年度 社会同和教育活動事業の報告について

— 資料に基づき事務局説明 —

【小・中学生学習会について】

(中村委員)

小・中学生学習会は、別紙1の資料にあるとおり、「同和対策審議会答申」に基づく事業である。どういう根拠で何のためにやっているかということをしつかりと理解してもらいたい。

(寺田委員長)

同じく、「人権を尊び部落差別などあらゆる差別をなくし明るい上越市を築く総合計画」（人権総合計画）に基づいても行われているということも認識していただきたい。

(江村委員)

小・中学生学習会は当初、学力保障と差別に負けない力を育てることを目的に始まり、現在は学力保障と仲間づくりの場所として継続されているとのことだが、現在の形になったのはいつ頃からか。

(事務局)

開始当初の頃に、地区と教職員との間で、小・中学生学習会の場では進路につながる学力保障を、地区では差別に負けない力を育てるとの話合いが行われ、以降この分担で続けられてきている。

【すげ笠づくり講座について】

(寺田委員長)

完成したすげ笠を神社等に寄贈した理由は何か。

(栞原委員)

短い日程の講座であるので、講座の実施後、講師の方々に仕上げ作業をしていただき、10個のすげ笠が完成した。地域との結び付きなどを考え、神社等に寄贈した。

【人権を考える講話会について】

(江村委員)

人権を考える講話会は、どのような人を対象にどのような形で実施しているか。自分も子どもへの暴力防止の活動を行っているため、どのようなことを行っているか興味がある。

(事務局)

小学校区のPTA、教職員、地域住民等を対象とし、地域青少年育成会議等、地域の関係者の協力を得ながら実施している。今後実施する際はぜひご協力いただきたい。

② 令和3年度社会同和教育活動事業について

— 資料に基づき事務局説明 —

【小・中学生学習会について】

(中村委員)

小・中学生学習会の参加者は昨年度と同じか。

(佐藤委員・栞原委員)

昨年度と同じである。

(中村委員)

地区外の友人等は何人参加しているか。

(佐藤委員)

中学生学習会は友人の生徒が1名参加している。

(事務局)

小学生学習会は、地区に建設されたアパートに転居してきた児童2名が参加している。

③ その他

・意見等なし

9 問い合わせ先

上越市教育委員会社会教育課社会教育係

TEL : 025-545-9245 (内線 1261)

E-mail : shakai@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。